



忘れられない、融資を受けたあの日

私がSATYAから融資を受けたのは、ほかのマイクロファイナンス機関と違い手続きがオンラインで、自宅から長い距離を移動せずにキャッシュレスで返済を行うことができるからです。夫は先祖代々サリー(インドの民族衣装)の織物職人で、融資を受ける前は私も夫の仕事を手伝い、収入のほとんどを子どもの学費にあてていました。それまで織機を1台しか持っていなかったのですが、4万インドルピーの融資を元手に織機を追加で購入し、夫婦で織物事業をしています。以前は1日当たりの収入は400〜500インドルピーでしたが、現在は700〜1000インドルピーと約40%以上増えました。融資を受けてから、医療、教育、食事といった基本的な生活の質が改善。伝統的なサリーの織物事業をもっと大きくして、子どもたちの将来のためにしっかりと貯金もしたいと考えています。融資を受けた日のことは忘れられません。まさか、自分が事業を営む日が来るとは思ってもみませんでした。家族の生活を変えてくれた今回の融資に感謝しています。

アシムン ニーシャ | **MS. ASHIMUN NISHA**

居住地域：ウッタール・プラデーシュ州／職業：サリー織物業



ENTERPRISING PERSON

融資を受けた現地の人たち——インド編

「応援投資」の資金は、五常・アンド・カンパニー、クラウドクレジットを通じて、約3万3000人の方に融資されました。これまで金融サービスにアクセスしづかった人々が、この融資により、専用の機材や原材料を手に入れて、それぞれが新しい事業を立ち上げています。「応援投資」は現地の人々の経済的自立に貢献し、その暮らしを確実に向上させています。今回は五常・アンド・カンパニーのインドにおけるグループ企業 SATYA の融資を受けたお二人の声をお届けします。



自分のビジネスを始めることができました

融資を受ける前、夫は大理石彫刻店に勤め、私は裁縫で家計を支えていました。融資額は6万インドルピーです。そのうちの6割を大理石の仕入れにあて、残りの資金でハンマーなどの工具を購入しました。融資を受けて、夫婦で大理石の彫刻事業を始めました。融資を受ける前は、息子と娘の学費と書籍代にひと月2万インドルピーかかり、あとは食費にあてると現金は手元にほとんど残りませんでした。しかし、現在は収入が4割程度増えたため、これまでできなかった将来に向けた貯蓄ができるようになりました。子どもたちの新しい洋服、家族の必需品を購入する余裕も生まれました。私は長い間、自分のビジネスを始めたいと思っていたのですが、必要な資金を調達するのに苦労してきました。今回の融資で、その夢が実現できて、マイクロファイナンスを利用して本当に良かったと思っています。もしも以前の私と同じような問題に直面している人がいたら、マイクロファイナンスの融資を試してみることをおすすめしたいです。いつか、私たちがつくった大理石の彫刻を展示し、手ごろな価格でより多くの人に販売できるショールームを開設したいと思っています。

プージャ デヴィ | **MS. POOJA DEVI**

居住地域：ラージャスターン州／職業：大理石彫刻業



1インドルピーは日本円に換算して1.62円(2023年2月20日現在)